



令和7年7月1日現在
世帯数 2,921世帯
男 3,169人
女 3,329人
総人口 6,498人

島立小学校運動会

6月1日(日) 表を、観衆に感動をもたらしました。



こや短距離走のほかチーム対抗の鬼ごっこやリレーを行う学年もあり、一人一人が全力で走りました。また、玉入れや台風の目では、団体競技の楽しさを会場の応援で更に盛り上げ、表現種目では、力強さや美しさ、結束力のある発



▲スローガン
運動会が
開催され
ました。

かけっ
青空の下、
紅白戦の大玉競技も大いに盛り上がりました。過去には頭上で大玉を通過させる「大玉送り」として恒例でしたが、現6年生の入学年度からコロナ禍となり途絶えていました。この度、PTA企画の親子交流競技として、大玉を地面で転がす「大玉転がし」に方式を変え待望の復活です！全校の親子約250組の列は大玉を繋ぎ応援し合い、校庭は

温かな雰囲気にも包まれました。
スローガンに「全校でさかせよう一生けん命の花」協力・団結」を掲げ、日々真剣に練習を重ねてきた児童達。それを更に超えたい気持ちで臨んだ運動会は、一生懸命の花も笑顔の花も満開の素晴らしいものになりました。



大玉転がし



校庭にできた大きな輪
6年ぶりに繋がった大玉の初戦は紅白同着！



1年生：玉入れ



2年生：表現(ソイヤ)



3年生：台風の目



4年生：表現(島立ソーラン)



5,6年生：組体操(心を1つにつなぐ絆の輪)

町会対抗卓球・ソフトバレー大会

5月18日(日)、島立地区スポーツ協会主催の町会対抗卓球及びソフトバレー大会が島立体育館及び島立小学校体育館にて開催されました。本大会は令和7年度島立地区のスポーツ活動の幕開けを飾るもので、開会式も行われました。

卓球大会には7町会から7チームが参加し、各チームが熱戦を繰り広げました。また、ソフトバレーには9町会から11チームが参戦し、多くの参加者が熱いプレーを見せてくれました。地域住民が一堂に会し、スポーツを通じて交流を深めるこのイベントは、島立地区の結束力を高める貴重な機会となりました。参加者は競技を楽しみながら、健康促進と親睦を深める素晴らしい一日を過ごしました。



- 【成績】
- 卓球
 - 優勝 北栗
 - 準優勝 荒井
 - 第3位 堀米
 - ソフトバレー
 - 優勝 南栗
 - 準優勝 三の宮
 - 第3位 町区



▲水滴を纏うホタルブクロ

鯉のぼり▲



▲堀米のキツネ
梅雨明けを待つ
タチアオイ▶

愛感謝と共に



5月17日(土)、大信州酒造での酒蔵見学が行われました。本来は年に一度、蔵開き

の時のみですが、今回特別に島立の皆さんへの感謝を込めて、公民館講座として実現しました。

デリケートな仕込み現場に入るため、15名の参加者は当日の納豆摂取を控え、アルコール消毒とヘアキャップを付けて見学に臨み、入社3年目の息子さんから施設と製造工程の説明を受けました。

町区を流れる地下水を利用した仕込み水の試飲から始まり、手仕事にこだわる理由や仕込み手順を聴きながら、設

備を余すことなく拝見し、最後は清酒の飲み比べを楽しみました。水の質感の違いが分かる個性豊かな味わいに、おかわりの列は絶えず、また、酒好きの談笑や質問が飛び交う賑やかな時間となりました。



堀米町会 常会対抗モルック大会

6月8日(日)、堀米公民館にて常会対抗モルック大会が開催され、地域の絆、交流を深めました。モルックはフィンランド発祥のスポーツで、木製のピンを倒して得点を競うシンプルながら戦略性のあるゲームです。



各常会から9チーム、総勢約40名が参加し、和気あいあいとした雰囲気の中で白熱した試合が展開されました。日ごろからモルックを楽しんでいるベテランから、今回初めて挑戦した初心者まで、チーム毎に戦略を立てたり、互いに声を掛け合ったり、チー

ムワークを高める姿が印象的でした。同じ町内会であっても、普段あまり交流のない方々とも、この大会を通じて親しくなり、地域の絆を再確認する機会となりました。

スポーツを通じて地域の活性化を図るだけでなく、世代を超えた交流の場ともなり、多くの笑顔が溢れる一日となりました。今後こうしたイベントを続けることで、地域の結束力をさらに高めていきたいと思

荒井公民館研修旅行

6月15日(日)、荒井公民館研修旅行が参加者21名で開催されました。今回の目的地は山梨県立リニア見学センター、赤富士ワインセラー、カゴメ(株)富士見工場の3カ所です。

リニア中央新幹線の開通は、当初、品川・名古屋間を2027年の予定でしたが2034年以降に変更されています。ここでは、超電導リニアの原理や実際の客室等を見学できましたが、走行実験は見ることができず残念でした。しかし、技術の素晴らしさや近未来の日本を想像・確認するよい機会となりました。

また、カゴメ富士見工場では、紙パック野菜ジュースの製造過程やこれまでの歩みを学ぶことができました。工場は約50年前に遊休農地を活用し地域貢献も目指した施設として建設され、現在は最新の設備やロボットが装備されていました。帰りのバスでは、山梨県ご当地クイズ大会が行われ、学びと親睦を深めた一日となりました。



大庭ひだまりサロンで多世代交流を広げよう!



大庭地区では「ひだまりサロン」という名称で、平成21年3月より「ちびっ子からおおじいちゃんおばあちゃんまで全員集合」を合言葉に、月1回のお茶飲み会を開催してきました。これまでは主に高齢の方々が参加され、笑顔あふれるひとときを過ごしてきましたが、今年5月より子育て世代の皆さんにも関わっていただき、地域の子どもたちとの触れ合いを大切にする活動へと広げています。

お茶会や食事会を通して、世代をこえた自然なつながりを生み出し、顔の見える関係づくりを進めることで、誰もが安心して暮らせる地域を目指しています。子どもが見守り活動にも力を入れ、多世代で支え合う温かなコミュニティづくりを進めています。

毎月第2日曜日にはお茶会・食事会を、第4水曜日にはお茶会と子どもの見守りを兼ねた会を大庭公民館で開催しています。